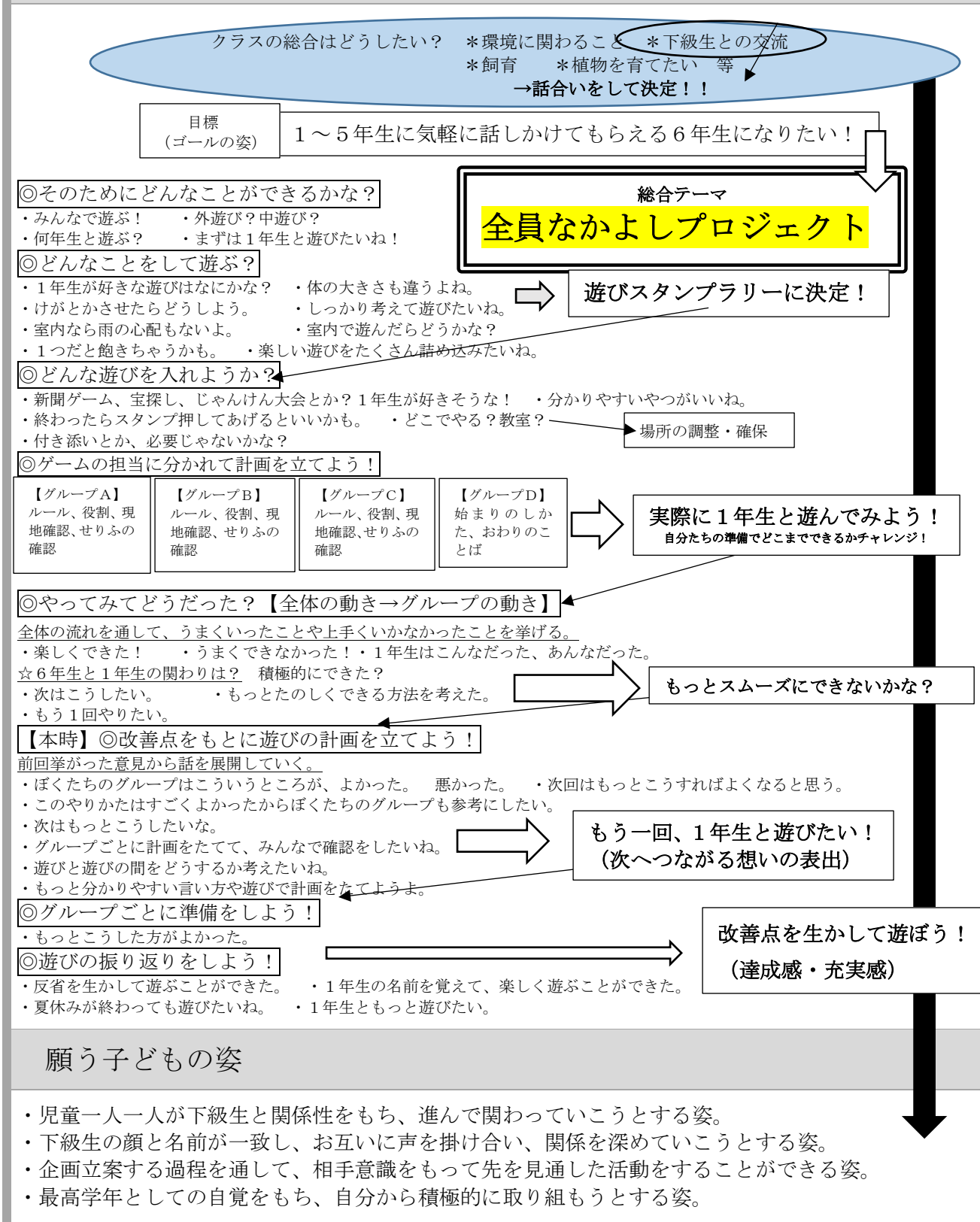


学びのストーリー



授業デザイン

手立てや概念

1年生の教室に朝のお手伝いに行かせたり、掃除のお手伝いに行かせたりすることで最高学年の意識をもたせ、自覚させる。

響き合う

題材の設定に時間を掛け、児童の意欲をしっかり汲み、多角的に検討する。

自己調整

休み時間に1年生と実際に関わらせ、1年生の実態をつかませることで、相手意識をもった考え方ができる児童を育成する。

自己調整

遊びについて、調べ、試し遊びをしながら比較、検討をグループでする。

響き合う

グループごとに検討し、よりよいものを作ろうとする。

高め合う

実際に遊ぶ活動をすることで、新たに発見したことを記録し、気付かなかったことをグループで確認する。

手立てや概念

振り返りの視点を「気軽に話せる関係になれたか」として振り返る。
「より関わりがもてる遊び方」を模索する。

高め合う(クラスのか)

活動の振り返りを通して、よりよい関係作りを1年生や、クラスの友達と作れるようにする。

高め合う(教師のねらいと意図)

今回の活動を通して、友達との関係を深め、一緒に企画の立ち上げや運営をする楽しさを味わうとともに、最高学年としての意識を高め、9月以降の活動への意欲へとつなげる。また、1年生だけでなく他学年とも交流をしたいという思いをもたせ、最高学年の意識を高めていく。(なかよし班活動につなげる意識付け)

評価規準・評価方法

学びに向かう力・人間性等

・1年生に関心をもち、相手意識をもって活動に取り組んだり、自分の考えを言ったりすることができる。

知識・技能

・自分で必要な情報を収集したり、取捨選択をしたりし、まとめていくことができる。

思考・判断・表現

・自分の考えを他者に伝えたり、他者からの意見を自分の考えと比較したりしながら、次の課題を考えていくことができる。

☆グループ活動、振り返り、実際の活動の様子などから総合的に評価をしていく。

☆異学年と関わる中で、同学年との関わり方との違いに気づき、最高学年としての意識を高めることができているかなど振り返りの中から判断していく。